

高齢者・障がい者入所施設に係る感染症対策専門家派遣指導事業 指導結果

指導年月日	令和3年11月12日（金）		
高齢・障がい	障がい者施設		
施設種別	障害者支援施設		
対象施設名	双樹園		
運営法人名	社会福祉法人万灯会		
所在地	〒501-6324 岐阜県羽島市桑原町小藪860		
定員	30人	職員数	29人
指導者	一般社団法人ぎふ総合健診センター 村上啓雄 医師 朝日大学病院 尾崎明人 看護師		

1 事前質問、会場質問への回答

問1 コロナ新株の対策について

コロナの新株の感染力は強いとされているが、今まで通りの対策でよいですか。

【回答】

株が変わっても予防策は同じです。予防策のうちできていないところをしっかりとやるべきです。

問2 アフターコロナの対応について

今後、新型コロナウイルス感染症が収束しても施設のような集団生活においては、マスク、手洗い、消毒、パーティション対策、ソーシャルディスタンス等は長期の習慣づけをする必要はありますか。

【回答】

当面はあると思います。

問3 新型コロナウイルス感染症のワクチンのブースター接種について

新型コロナウイルス感染症のワクチンのブースター接種のタイミングはいつ頃になりそうですか。

【回答】

令和3年12月以降、3回目の接種券が届いたら一番早く接種できる方法で接種いただくのが良いと考えます。

問4 新型コロナウイルス感染症の感染者の即時入院について

障害者支援施設の入所者が感染した場合、即時入院はできますか。

【回答】

施設内では医療行為も困難かと思われるので、すぐに入院できるよう配慮します。ただし、医療的なケアが必要な場合を除いて、施設入所者の全員が感染した場合などで、全員がワクチンを打っていて症状もほとんどないといった場合などでは、施設の入所継続を相談させてもらう場合もあるかもしれませんので、ご理解をお願いします。

問5 濃厚接触者の観察期間について

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の観察期間は2週間程度とされていますが、現在も変化はありませんか。

【回答】

濃厚接触者については、陽性者に最後に接触してから14日間は自宅待機をお願いします。

これまでの感染例では14日目に陽性となった例はありますが、15日目以降は認められていません。

問6 入所者の面会や帰省について

障害者支援施設の入所者の面会や帰省について、どう考えたらよいですか。

【回答】

面会については、①ワクチン接種、手指消毒の上で、15分以内にする、②パーティションをしっかりと部屋を面会室にする、③リモートにより面会をする、の3つぐらいの方策で段階的にやられたらどうでしょうか。帰省については、第6波の出そうな年末くらいまでは見据えていただくのが、よろしいのではないのでしょうか。

問7 新規入所者に対するPCR検査について

障害者支援施設の新規入所者に対して、PCR検査での陰性証明を義務付けることはどうですか。

【回答】

新規入所者のPCR検査はやっていただいても結構ですが、陰性証明できるものではありませんし、またお金のかかることでもあることです。今日の体調に加えて過去14日間の体調を体調チェックシートに記載いただいて、全員ではなくちょっとでも問題のある方について検査をしていただくように選別した検査対象を設定することは、意味のあることかと思えます。

問8 マスクについて

マスクを二重にすることは意味がありますか。また、マスクの種類は何がよいですか。

【回答】

マスクは二重にかけていただいても結構ですが、そうすることより、ひとつを適切にしっかりとかけることが最も重要です。鼻の形状に合わせてワイヤをしっかりとフィットさせ、顎までしっかりと覆うようにしてください。マスクの材質は不織布のものがベストではありませんが、手元にあるもので効果がないということはありません。したがって、他人が不織布のマスクを用いていないからと言って、偏見を持って接しないようにしてください。

2 現場指導及び講評

- ・ 各部屋への入退室に伴う手指消毒の徹底（部屋の入り口にアルコール消毒液を設置）をすること。
- ・ マスクを外す部屋（食堂等）では、できるだけパーティションを用いること。
- ・ 複数人数が滞在する部屋における換気は、特に重要であること。
- ・ 換気扇が設置できない部屋では、エアロゾルに含まれるウイルス等の不活化に効果のある空気清浄機等の設置も検討するとよい。
- ・ 同じ空間にいる人全員がマスクをしっかりと着用されている環境であればパーティションは必要ないこと。
- ・ 感染者数が減少傾向にあっても、施設内の感染対策は現状維持を続けること。
- ・ 身体拘束をイメージさせる「隔離室」の呼称をやめ、「保護室」等へ変更するとよい。
- ・ ワクチンのブースター接種（3回目）は、職員、利用者に可能な限り勧めること。
- ・ 濃厚接触者の観察期間は14日以上を設けること。
- ・ 感染の有無を確認するためのPCR検査を過信せず、過去14日間の健康状態を確認して判断したほうがよい。
- ・ 感染後、入院治療を終えた人が最も安全で、もちろん他人への感染性が無くなっていることを認識すること。